

WALKING MAP

こみち
～自然の小径～

マイナスイオンを感じる

ブナ林の散歩道

約4kmコース（標準タイム：約60分）

気楽に歩ける散歩道



休暇村 乳頭温泉郷

秋田県仙北市田沢湖駒ヶ岳2-1
TEL 0187-46-2244

9 空吹湿原

この散策コースの目的地点でもある「空吹湿原」ブナ林の中の窪地状の平らな部分に出来た湿原です。春の雪解けを過ぎると、ミズバショウ・リュウキンカが咲き始めます。



真夏になるとミズキクやタチキボウシの花が咲きます。秋が深まると、湿原の草花は黄色く変化し、10月初旬から中旬にかけて、一面の「草もみじ」となり、一足早い紅葉を楽しむことができます。

10 ブナ林の回廊



黒湯温泉から休暇村までの約2キロの道筋は、ブナ林のトンネルが続き私たちは「ブナ林の回廊」と呼んでいます。新緑の季節から紅葉の季節まで

木漏れ日をあび、マイナスイオンをたっぷりとあび、心にも身体にもとっても良いコースです。



～ウォーキングについて～

- ウォーキングはひとそれぞれのペースで楽しむことが大切です。
- スニーカーやウォーキングシューズなどの歩きやすい靴を着用しましょう。
- ウォーキングによって生じる疲労を回復するためには、休息をたっぷりとることが大切です。
- こまめに水分補給を行きましょう。

6 根曲がりブナ



斜面に生息しているブナ等の木の根元はほとんど斜面の方向に向かっています。この付近では、積雪が3メートル以上あり、この雪の力で小さな木は毎年、押し倒され、この繰り返しによって根元が曲がってしまいます。

このようなブナを「根曲がりブナ」といいます。厳しい冬を乗り越えるブナの強さを感じられる場所です。

7 樹齢100年のブナ

尾根筋を過ぎると、休暇村周辺と同じブナの二次林が広がります。この辺りのブナの木は全体的に太く、本館周辺の林より早く伐採され、二次林となったものです。



8 林に生息する動物たち

この付近の森林にはカモシカが多く生息しています。動物は一定のルートを歩くことが多く「けもの道」ができていますので、これを見つくとカモシカなどに会うチャンスが増えます。他にもリス・ムササビ・モモンガ等も生息しています。鳥では、アカゲラ、コゲラ、シジュウカラ、ヤマガラ等を見ることができます。

① 休暇村本館周辺のブナ林

本館を出てすぐの園地にはブナ林が広がります。一度、伐採された後に成立した二次林で、樹齢はおよそ60年～80年位です。晴れた日は太陽の日差しが降りそそぎ、濡れ日が気持ち良く感じます。雨に濡れたブナもまた美しいです。



② ブナ林に咲く花たち

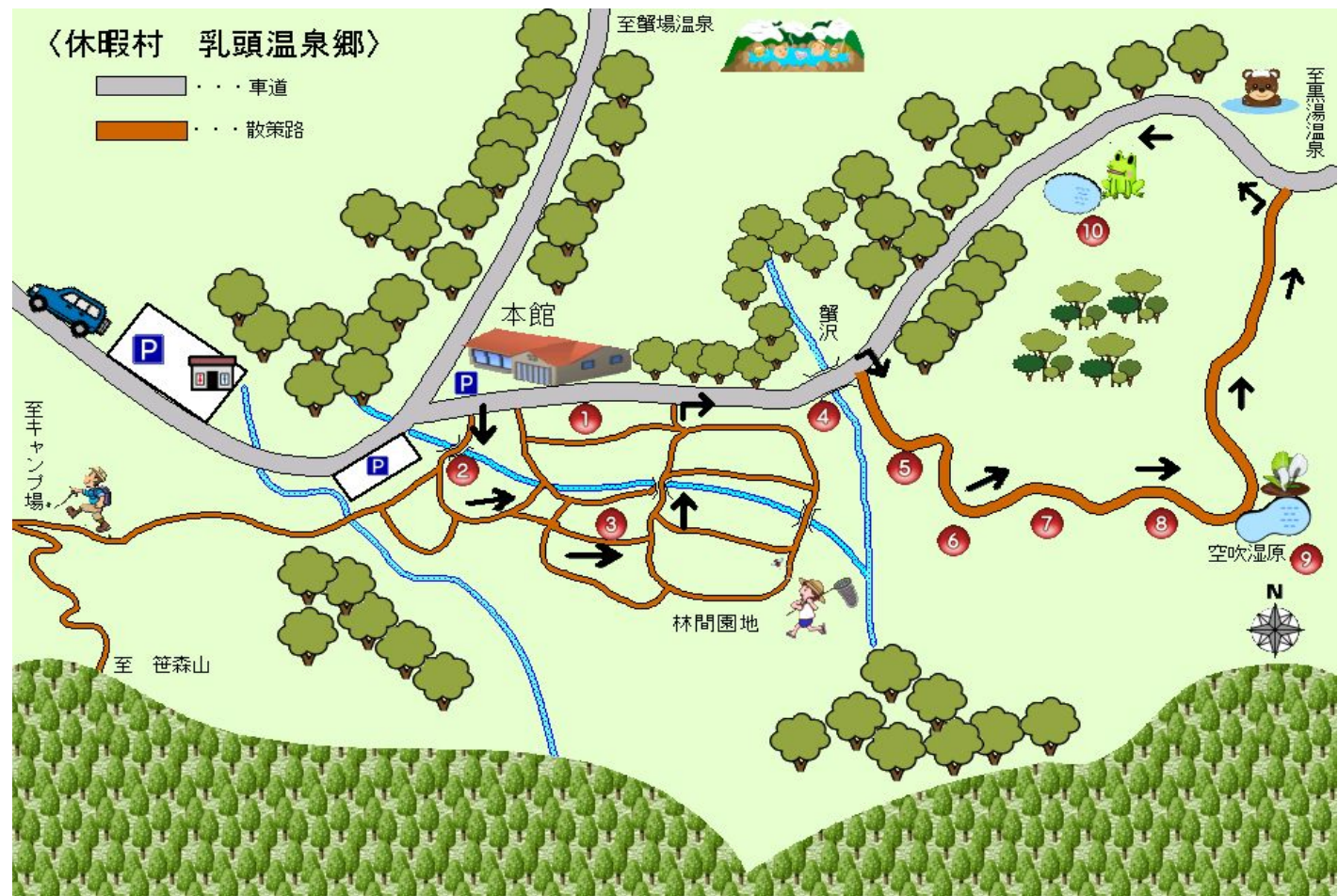
園地内には様々な花たちが咲きます。マイツルソウやエゾアジサイ、ミヤマカタバミにユキザサ。他にもまだまだ、季節ごとに美しく可憐な花を気軽に見ることができます。



③ 冬場の目印「ブナへびの木」



園地を5分ほど歩くと、林の中に特徴的なブナの木があります。ブナの幹にツタが巻きつき、まるで大蛇がまきついているように見えます。夏場は全く手の届かない位置にありますが、積雪時は直接触ることができます。また、この辺りは「エゾハルゼミ」の羽化をする場所でもあり、6月になるとその抜け殻を見ることができます。



④ 岩魚の住む沢「蟹沢」



この蟹沢にはきれいな水のある所にしか生息しないといわれる「岩魚」が生息しています。大きいもので30センチ以上に成長しますので、運がよければ岩陰から見られるかもしれません。また、本館で使用している水は、すべてこの沢水を使っていますので、安心して飲用していただけます。マイナスイオンをたっぷりと感じられる場所です。

⑤ 環境に適した樹木



沢沿いの土は水分が多く、これに適した植物が生息し、トチノキ、サウグルミ、カツラなどが見られます。車道沿いはサウグルミが多く、沢沿いに歩くと他にトチノキ、カツラなどの高い木が見られます。低い位置にはシダ類が見られます。